

# 県政発展と地域振興

# 遠藤ひろし

## 県政報告

26年  
9月  
定例会報告  
第4号

### 県政報告会のお知らせ

11/8(土) PM 7:00 JA西八代本所3階ホール



峡南技術専門学校竣工式(平成26年8月2日)



6月定例会県議会本会議(平成26年6月27日)

いあいおめでとう

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

横内知事は、就任以来、自ら先頭に立ちトップセールスを展開。今や、国内半分以上の都道府県でトップセールスを行う差別化の時代です。その先駆的精神は、今後の県政に大きな足跡となる事でしょう。

富士山の世界遺産登録にご尽力いただき、山梨を元気にする4つのアクションを打ち出し、県政の進展に尽くされました横内知事に御尊敬と感謝を申し上げます。

今後は、厳しい財政運営の中、県民の福祉向上のため県政が滞らぬよう立居振舞いたしますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。





県立市川高校創立100周年の歩みを自民党・県民クラブとして政務調査(平成26年8月)



# 地域の課題に対応

## 峡南医療センター



町議時代から議員有志と調査や議論を重ねた結果、県の支援体制と大学病院の医師派遣の約束が確認でき、スタートした峡南医療センターです。「地域完結医療」の実現を目指し大学病院に寄附講座を開設するなど県の支援体制を確立してきました。

しかし、看護師の偏在や地域完結医療体制など不完全な部分が顕在化。これに対し、県は、看護師確保の取組みに対する支援や医師の地域偏在に対する支援の見直しをしています。



町議の有志らと厚生労働省への調査を行い市川三郷町立病院の在り方を検討。(平成23年11月)

## 高校再編整備



創立100年を迎えた県立市川高校は、地域と共に歩んで来ました。現在でも市川三郷教育の核であり、将来も変わるべきものではないと思います。

今の場所に、市川高校の教育指導体制を存続させるため「市川三郷町高校再編整備検討委員会」が設置され議論されています。



3つの町に4つの県立高校  
・地理的状況、交通事情、通学状況に配慮し検討。

一般質問(26年2月)  
峡南地域の高校再編整備は  
答・身延高校を基軸に連携型中高一貫教育への検討を。  
・峡南地域は再編整備の必要性の理解を求めたい。

会派政務調査(26年8月)  
教育施設の老朽化が議論される。

市川三郷町高校再編整備検討委員会(26年9月)  
県の再編整備計画に則して市川高校のあり方を検討。

一般質問(26年9月)  
答・再編整備の基本的な方向性を示していく。  
・校舎整備は再編整備と同調。



2月定例県議会(平成26年2月)



6月定例県議会(平成26年6月)

看護師の偏在解消へ向け県は、  
答「県内看護職員の総数確保に努めるとともに院内保育所運営など看護職員確保のための取り組みに支援していく」

一般質問(26年2月)  
センター開院に向けて取組みは  
答・地域完結医療の実現を。  
・大学に寄附講座を開設。

予算特別委員会(26年3月)  
看護職員の地域偏在が顕在化。

峡南医療センター開設(26年3月)

一般質問(26年6月)  
看護職員の偏在への対応を  
答・看護職員確保策に支援する。

町内の火災救急での対応等で、「地域完結医療体制」が不完全。(6月末)

医師修学資金貸与制度を見直し

「峡南、峡東、富士・東部と産科など医師不足が顕著な地域や診療科を対象に医師修学資金貸与制度を見直し」(9月議会知事提案)





# 県政課題への取組



## ◎人口減少社会への対応

定住人口確保など人口増加の直接策を引き続き推進することとともに人口減少社会に適応した地域づくりを推進する必要性を議論しました。

国では、「地方創生」の動きが加速するのとともに、県においても独自の戦略部会の設置へと対策が講じられています。

## ◎手話言語法制定に向け

言語としての「手話」に対する社会的認知が遅れています。山梨県議会は、手話言語法制定に向け関係機関に対し意見書を提出しました。今後は、山梨県障害者幸住条例改正、手話言語条例制定に向け取り組めます。



## ◎防災対策政策提言

想定外の事態にも対応するためには多様な災害を想定した総合的計画の必要や、初動体制を構築するための情報の収取と発信を提言しています。



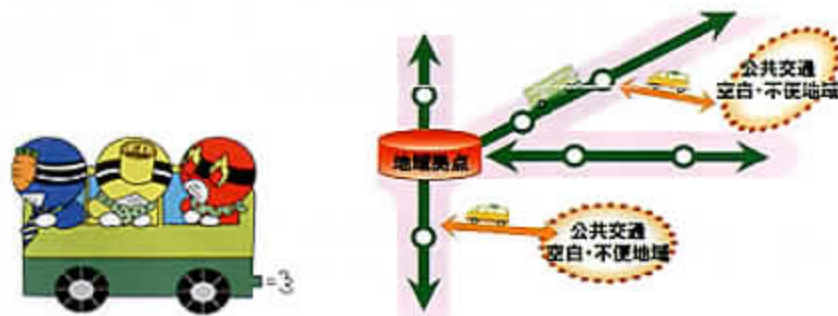
位置と画像でリアルな情報収集に取り組む

## ◎地球温暖化対策

クリーンエネルギーの地産地消と温室効果ガス削減に取り組む山梨県ですが、温暖化は避けられません。気候変動に適応する対策を講じる必要があります。今後の施策展開を注視します。

## ◎バス交通網の再編整備

バスやタクシーという公共交通機関を充実することは、高齢社会の交通安全確保と生活の利便性向上に欠くことができません。自治体や種別の壁を取り払い、実用的に整備し、安全で快適な暮らしを目指します。



取り組むべき課題は、山盛りです。

- ◎身延線と沿線バス交通
- ◎甲斐岩間駅東原活用
- ◎観光資源の活用
- ◎高齢者の免許返納環境醸成
- ◎峡南地域の災害対策
- ◎河川の安全と親水水辺
- ◎東南海地震の防災関係
- ◎窓口無料化の厳しい現状
- ◎介護や子育てなど自治体格差
- ◎包括福祉の地域づくり
- ◎伝統産業の育成
- ◎地域の産業活性
- ◎商店街と街なか活性
- ◎農業振興
- ◎中山間整備
- ◎リニア中央新幹線
- ◎高速道路網整備
- ◎道路整備と維持修繕
- ◎外国人観光客対応
- ◎国際化、地域人材育成
- ◎個性を伸ばす教育環境